



またまた行ってきました、アメリカへ。今年で4年連続。もう恒例になっています。今年も10月に予定していますよ。さて、今回は10日間走りっぱなしのフロリダです。まず、アメリカ・ダラス空港に到着し、国内線にてマイアミへ。眠くて眠くて……。静岡の家を出てから、すでに2時間が経過していて、ほとんど寝ていない。飛行機の中でも16時間くらい。タイムマシンの様に、時間が戻ってしまったから……。眠い目をこすりながら、明日からの相棒（ハーレーダビットソンの中でも一番大きいウルトラクラシック）とご対面に。マイアミのディーラーに向かい、おしゃれな建物に目を見張り、感動していました。そう、そこはアールデコの建物で有名なマイアミだから……。2日目は、いよいよ2000キロのツーリングがスタート。まず、エバーグレース国立公園で、ワニと戯れ、湿地帯の一本道をサニベル島まで、一気に200キロ走破。そこは貝殻だけで出来た、真っ白な素晴らしい海岸。その日は、エジソンの別荘があったフォートマイアーズで宿泊。3日目は、早朝からフロリダ半島を北上して、500キロのロングツーリングでオーランドまで走る。途中、人魚のモデルにもなった、マナティーに逢いながら……。4日目は、「デイトナ500」で有名なデイトナビーチまで340キロの旅を続け、翌日、ケネディー宇宙センターにて、スペースシャトルを見学。今回の目玉、約30,000台のハーレーとのツーリング。さすがアメリカ。今回のイベントでは、チャリティーで貧しい子供たちにクリスマスプレゼントを持って行くのが決まり。みんなは思い思いのおもちゃや、ぬいぐるみをバイクに縛りつけていた。ポリスが30キロに渡り、6車線の高速道路を完全閉鎖してハーレーだけの道を確保してくれた。沿道の子供達や、歩道橋の上からの熱い声援を受け、マカハパークまでのツーリングを楽しんできた。とても全部書ききれないので、興味のある方にはもっと詳しくお話しますよ……。



エコな街じゃけん 広島

今年の冬の旅の目的地は広島。なかなか行く機会がないけど行っておかなきゃいけない町。世界ではじめて原爆の犠牲になった都市。被爆後63年、世界に核の脅威を訴え続けている。人類の未来を語る上で見ておかなければならない。

瀬戸内の要衝、広島市は人口116万人の大都市だ。静岡からひかりとのぞみを使って3時間半。連休の広島は世界各地から訪れた人々で賑わっていた。原爆の傷跡を目の当りにし、改めて平和のありがたさを感じる。

広島の街を語る上で欠かせないのが路面電車。全国各地からやってきたちんちん電車の博物館のよう。その懐かしい電車とヨーロッパから来た最新型トラムがすれ違う。これこそエコロジーな街づくりのお手本。ここではトラムというより路面電車という呼び方が似合う。ガタゴト走る市電が市民の生活をスローライフにさせる。

宮島の厳島神社と瀬戸内の島々、広島風お好み焼き、かき料理、カープ、etc。世界遺産有、うまいもん有とディープな街だ。



お好み村



原爆ドーム



路面電車1



路面電車2



厳島神社